



# 札幌市立中央幼稚園 研究通信

札幌市立中央幼稚園では、研究実践園として日々の保育実践を通して研究に取り組んでいます。今年度の『研究』及び『取組』についての一部をご報告させていただきます。



## 本園の研究について

今年度中央幼稚園では、本園の子どもたちの実態から下記のように研究主題を設定し、研究を進めてきました。

研究主題 幼児期にふさわしい生活の在り方を求めて

副主題（本園の研究テーマ）

「心動かされる体験を通して、言葉のキャッチボールを楽しむ幼児を育てる」

視 点 主体的・対話的で深い学びの充実

### 目指す幼児の姿～言葉のキャッチボールを楽しむ姿とは・・・



## 実践事例から今年度、分かったこと…

### 『心動かされる体験』を支えるための教師の援助

- 信頼関係を築く
- 遊びへの興味関心を高める
- 友達同士をつなげる
- 友達との関わりを深める

### 幼児の心が動いたことで…

- ♥先生分かってくれる
- ♥先生と遊ぶと楽しい

- ♥先生や友達、楽しそうやってみたい
- ♥やってみたら楽しかった

- ♥友達が「いいよ」って言うてくれた
- ♥本当はやりたいのになんか嫌だと言っちゃった…

- ♥友達と力を合わせると楽しくなる
- ♥友達が「頑張ってるね」と認めてくれた

### <動きでの関わりを楽しむ>

- ・教師に気持ちや助けてほしいことをアピールする。
- ・好きなものになりきりながら友達とかかわる。

「ネコになって「ニャーニャー」

### <教師に支えられ自分の思いを表すことを楽しむ>

- ・友達と同じ遊びを楽しむ中で言葉で思いを表す。
- ・知っていることを友達に伝えたり教えたりする。
- ・困ったことを言葉で表す。

「今日はごちそう作ろう」

### <友達との関わりを楽しむ>

- ・自分の得意なことを友達に見せたり教えたりする。
- ・友達が困っている時に助ける。
- ・友達の頑張りを認める。
- ・友達と役割を分担しながら遊ぶ。

「かまくら、分担して作ろう」

教師や友達に自分の思いを表す姿に



遊びの中で幼児の心が動くことで、教師や友達と関わりたい、話したいという気持ちが高まることがわかりました！

『心動かされる体験』を支えるためには、教師が幼児の思いを受け止め、その思いを友達につなげていくことが大事。

友達との言葉のキャッチボールを楽しむためには、友達との関係性の深まりや自信をもつことが重要。～ということを確認しました！



# 今年度の取り組み

## ○札幌市私立幼稚園教育研究大会（9月27日）

参加者数：私立幼稚園 70名、認定こども園 12名、市立幼 18名

- ・午前～公開保育・保育研究（本園の研究発表・保育反省・グループ協議）
- ・午後～講演会

『特別な支援を必要とする幼児などの理解～集団の中での実際の指導について学ぼう！』

講師 斎藤 真善氏（北海道教育大学 准教授）

## ○中央区合同研修会（10月25日）

『子どもたちと楽しく遊ぼう！～いろいろな運動遊びを通して～』

講師 竹口 敦子氏（札幌大谷大学短期大学部保育科講師）

当日は、中央区内の幼稚園、認定子ども園、保育所の方々に多数ご参加いただき、幼児が楽しく遊ぶための環境づくりや発達に応じた遊び方、体の動かし方などを具体的に学ぶことができました。また、ボール・手芸用ゴム・お手玉など身近な物を使ったいろいろな運動遊びや、わらべうた遊びなどを教えていただき、すぐに実践で生かせるヒントをたくさんいただきました。



## ボールで遊ぼう



## お手玉を使った遊び



2人で向かい合って座り、教師の「はい」の掛け声でボールを取り合って遊ぶ。この遊びは座った状態で相手にボールを取られないように動くことで体幹が鍛えられる。



お手玉は、ペットボトルのふたを12個位入れた物を使用。フープに投げ入れる・積み重ねる・滑らせるなどして、数や高さや距離などを競って遊ぶ。楽しみながら、数量にも触れることができる。

手芸用ゴムを使用。飛び越える・またぐ・くぐるなどして遊ぶ。ゴム遊びは、様々な動きが経験できるので、多様な運動機能が育っていく。



## ゴム遊び

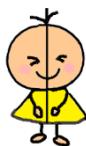


## タオル遊び



タオルやマットなどを数人で押ししたり、1人がタオルに座って引っ張られたりして遊ぶ。この遊びでは、腹筋や背筋が鍛えられる。

他にもいろいろな遊びを紹介していただきました。参加された方々からは、“とても楽しかった” “まだまだ体験したかった” “保育ですぐに実践したい” など、の嬉しい感想が多数ありました。



今後も研究の取り組みについて発信していきます。次年度もどうぞよろしくお願いいたします！